

コーヒーカウンターのおい出

松野弘子

マーケットのひと隅の

コーヒーカウンター

ふたつの椅子に腰かけているのは

老いた父と母

父のために

コーヒーソフトクリーム

母には

白く無造作なカップに

淹れたたてのコーヒー

少し量の多いソフトクリームから
ひと匙 貫って
コーヒーに落してやると
ふたり仄かに笑う

ケアハウスの退屈な午後
いつも

ここへ連れてきた

あ……

ほら 見えないだろうか
今

あなたが座ろうとしている
その椅子

そこにはもう私の
思い出が

腰を下ろしている――